学校番号	T3003

平成３１年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史Ａ	単位数	２	年次	２
使用教科書	高等学校　日本史Ａ　新訂版（清水書院）						
副教材等	担当者作成授業プリント等						

１ 担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史的事象や人物に興味を持つ。
・歴史的事象に「なぜそのようになったのか」等の疑問を抱き、自らの力で思考する。
・歴史を背景としたわが国の諸事情を踏まえ、現代の諸問題を歴史的事象と関連付けて考える。

２ 学習の到達目標

・歴史的事象や人物に興味を持ち、思考する。
・思考したものをレポートや発表という形で表現し、わかりやすく伝える。
・現代のわが国の諸問題と歴史的事象を照らし合わせ、なぜ諸問題が起こっているのか理解する。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	近現代史を中心とするわが国の歴史に対する関心を持ち、自ら積極的に学び、考え、課題を発見できる。	現代のわが国の諸課題を歴史的観点から考察・分析し、わが国社会の変化を踏まえ公正に判断して、自らの考えをレポートなどにまとめて表明できる。	近現代史を中心とするわが国の歴史に関する諸資料を文献やインターネット等を利用して収集し、まとめることができる。	近現代史を中心とするわが国の歴史についての基本的な事柄を理解し、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら自らの知識として身につけることができる。
評価方法	授業中の発言 授業プリント レポート	授業中の発言 授業プリント 定期考査 レポート	レポート	授業中の発言 授業プリント 定期考査 レポート

上に示す観点に基づいて、前期後期ごとに評価し、学年末に 100 点法の評点と５段階の評定により評価する。
学習内容や学習範囲、および授業展開等に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4 学習の活動

授業回	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1回目	国際環境の変化と幕藩体制の動揺	・19 世紀の世界とアジア ・外国船の来航と海防策 ・新しい学問と思想 ・社会の変化と農民の動向 ・幕藩体制の動揺と幕政・藩政改革	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ 	○ ○ ○ ○	a:19 世紀という時代が持つ世界史的な意義に関心を持ち、わが国とのつながりとその意味を意欲的に考える態度がある。 b:設定された主題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:各学者や思想家が打ち出した学問及び思想を、インターネット等を利用して自ら収集し、まとめることができる。 d:外国船の来航の意味と意義を理解し、それを踏まえて、社会の変化や体制の変化の基本的な知識を身に付けている。	・授業中の発言 ・授業プリント ・定期考査 ・レポート
2・3・4回目	明治維新と近代国家の形成	・ペリー来航と日米和親条約 ・通商条約の締結と安政の大獄 ・貿易の影響と尊王攘夷 ・倒幕運動の展開 ・幕府の滅亡と新政府の成立 ・文明開化 ・明治初期の国際関係 ・国境の画定と北海道の開拓 ・不平士族の反乱と日朝修好条規	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:倒幕運動や新政府樹立といったようなこの時代特有の大きな社会の動きに関心を持ち、なぜこのような大きな動きや考え方が出現したのかを意欲的に考える態度がある。 b:同時代におけるわが国と世界各国との違いについて主体的に思考し、その違いや理由を世界史的観測で判断し、これをもとになぜ明治維新が起こったかを、自らまとめて表現している。 c:和親条約と修好通商条約や、文明開化、明治維新後の国際関係を中心に適切な資料を選択し、活用している。 d:幕藩政治の終焉から新政府樹立、不平士族の反乱、わが国の対外進出までについての知識を身に付け、その要因を理解している。	・授業中の発言 ・授業プリント ・定期考査 ・レポート
5・6・7回目	立憲政体の成立と国際的地位の向上	・自由民権運動と政党の結成 ・立憲体制の確立 ・日清戦争 ・日清戦争後の政治と日英同盟 ・日露戦争 ・韓国の植民地化	○ ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ 	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:明治維新後に政党が出現したこと、さらには政党が力を増したことに関心を持ち、立憲政体及び政党の意義や役割に関して意欲的に考えている。 b:日清・日露戦争の要因や特質を見いだし、多面的かつ多角的に歴史的事象をとらえ、適切にまとめている。 c:日清・日露戦争に関する諸資料を収集し、自ら有用な情報を選択して、読み取ったり図表にまとめたりしている。 d:近代における政治体制の基本的な事象や要因などを知識として身に付け、わが国が対外政策に乗り出した要因やその意義について、以前までの鎖国政策と比較し、理解している。	・授業中の発言 ・授業プリント ・定期考査 ・レポート

8・9回目	第一次世界大戦と日本	・護憲運動と大正デモクラシー ・第一次世界大戦への参戦と国際関係の変化 ・政党内閣の成立と戦後恐慌 ・ヴェルサイユ体制 ・国際連盟の成立とワシントン体制 ・関東大震災と政党内閣の時代	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:わが国が本格的に世界に進出し始めたことに関心を持ち、現代社会におけるわが国と諸外国との関係や諸問題とも関連させ、意欲的に考察している。 b:わが国が本格的に世界に進出し始めた要因や政党内閣の意義について主体的に考え、まとめ、多角的・多面的に考察し表現している。 c:ヴェルサイユ・ワシントン両体制の違いや、関東大震災とその政治的意味について、有用な資料を選択し、自らの知識理解に役立つように活用している。 d:この時代特有のわが国の政治運動や第一次世界大戦、その後の世界体制の基本的な事象を知識として身に付け、なぜ政治体制が変化したのか、なぜ大戦が引き起こされ、わが国が参戦したのかを理解している。	・授業中の発言 ・授業プリント ・定期考査 ・レポート
10・11回目	第二次世界大戦と日本	・世界恐慌と昭和恐慌 ・満州事変と国連脱退 ・二・二六事件と日中戦争 ・第二次世界大戦と日本 ・日独伊三国同盟と日米の対立 ・アジア太平洋戦争(太平洋戦争)の勃発 ・日本占領下のアジア ・戦時下の国民生活 ・日本の敗戦	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:設定された時代にみられたわが国の急激な変化や、日中戦争、第二次世界大戦の要因、わが国及び国際社会への影響などに関心を持ち、意欲的に追究している。 b:設定された時代にみられたわが国の急激な変化の要因やその様相および日中戦争、第二次世界大戦の要因や影響について、自ら多面的多角的に考察し、過程や結果を適切に表現している。 c:ナショナリズムの高揚や各国陣営の構成、日中戦争、第二次世界大戦とその要因、わが国の国民及び占領下の地域への影響などについて、諸資料を適切に選択し、自らの知識理解やその表現に関して有用に利用している。 d:設定された時代の基本的な事象や、日中戦争、第二次世界大戦の要因、総力戦としての性格についての基本的な事象などを、急激に変化したわが国への影響などと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	・授業中の発言 ・授業プリント ・定期考査 ・レポート

12回目	戦後政治の動向と国際社会	・占領と改革 ・占領下の政治と労働運動 ・日本国憲法の制定 ・冷戦と占領政策の転換 ・戦後の国際情勢と日本の独立 ・戦後の国民生活と変化	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○ ○ 	a:アジア太平洋戦争敗戦後の我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移に関心を持ち、主体的・意欲的に学習活動をしている。 b:アジア太平洋戦争敗戦後の我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移を多面的・多角的に比較・考察した上で、その結果を的確に発表している。 c:アジア太平洋戦争敗戦後の我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移に関する諸資料を見学・収集し、吟味・考察してその結果を適切に年表・地図などに表現している。 d:アジア太平洋戦争敗戦後の我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について、現代史の座標軸となる知識を踏まえて大観的に捉えることのできる能力を身に付けている。	・授業中の発言 ・授業プリント ・定期考査 ・レポート
12回目	経済の発展と国民生活の変化	・55年体制の成立 ・平和運動と安保闘争 ・高度経済成長 ・高度経済成長期の日本と世界 ・安定成長から経済大国へ ・経済大国へのみち	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○ ○	a:戦後の経済復興から高度経済成長をへた日本経済の発展と国民生活の変化の過程に関心を持ち、主体的・意欲的に学習活動をしている。 b:戦後の経済復興から高度経済成長をへた日本経済の発展と国民生活の変化の過程を多面的・多角的に比較・考察した上で、その結果を的確に発表している。 c:戦後の経済復興から高度経済成長をへた日本経済の発展と国民生活の変化の過程に関する諸資料を見学・収集し、吟味・考察してその結果を適切に年表・地図などに表現している。 d:戦後の経済復興から高度経済成長をへた日本経済の発展と国民生活の変化の過程に関する相互の因果関係を公正に読み取る能力を身に付けている。	・授業中の発言 ・授業プリント ・定期考査 ・レポート
12回目	現代の日本と世界	・世界史の転換―冷戦の終結と「昭和」の終わり― ・55年体制の崩壊 ・21 世紀をむかえて ・こんにちの世界と日本の課題	○ ○	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a:世界の動向と関連付けて現代の日本の課題と役割に関心を持ち、主体的・意欲的に学習活動をしている。 b:世界の動向と関連付けて現代の日本の課題と役割を多面的・多角的に比較・考察した上で、その結果を的確に発表している。 c:世界の動向と関連付けて現代の日本の課題と役割に関する諸資料を見学・収集し、吟味・考察してその結果を適切に年表・地図などに表現している。 d:世界の動向と関連付けて現代の日本の課題と役割について、近現代史の座標軸となる知識を踏まえて大観的に捉えることのできる能力を身に付けている。	・授業中の発言 ・授業プリント ・定期考査 ・レポート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。